（1）第１号技能実習実施計画（モデル例）

技能実習を行わせる事業所
事業所名　　○○法人　×××事業所　　所在地　東京都新宿区西新宿○-○○-○○
実習期間　　20XX年　XX 月　XX 日　～　20YY年　YY 月　YY日

		技能実習の内容 必須業務、関連業務及び周辺業務の例 指導員の役職・氏名（経験年数）	事業所	合計時間	月・時間数 1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
1	必須業務	0. 共通項目（必須業務を行う際、全てにおいて共通） 1）体調の確認等 Ⅰ. 身体介護業務 1. 身じたくの介護 1）整容の介助 （1）整容（洗面、整髪等） （2）顔の清拭 （3）口腔ケア 2）衣服着脱の介助 （1）着脱の介助（座位・臥位） 2. 移動の介護 1）体位変換 （1）体位変換 （2）起居の介助（起き上がり） （3）起居の介助（立位） 2）移動の介助 （1）歩行の介助 （2）車いす等への移乗の介助 （3）車いす等の移動の介助 3. 食事の介護 1）食事の介助 4. 入浴・清潔保持の介護 1）部分浴の介助 （1）手浴の介助 （2）足浴の介助 2）入浴の介助 3）身体清拭 5. 排泄の介護 1）トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助 2）おむつ交換 3）尿器・便器を用いた介助 介護主任　福祉花子（15年）	○○事業所	○h			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
2	必須業務	Ⅱ　安全衛生業務（※） ① 雇い入れ時の安全衛生教育 ② 介護職種における疾病・腰痛予防 ③ 福祉用具の使用方法・及び点検　※ ④ 介護事故防止のための教育 ⑤ 緊急時・事故発見時の対応 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
3	関連業務	1. 掃除、洗濯、調理業務 ① 利用者の居室やトイレ、事業所内の環境整備 ② 利用者の衣類等の洗濯 ③ 食事に係る配下膳等 ④ 調理業務（ユニット等で実施されるもの） ⑤ 利用者の居室のベッドメイキングやシーツ交換 2. 機能訓練の補助やレクリエーション業務 ① 機能訓練の補助や見守り ② レクリエーションの実施や見守り 3. 記録・申し送り ① 食事や排泄等チェックリストによる記録・報告 ② 指示を受けた内容に対する報告 ③ 日誌やケアプラン等の記録及び確認 ④ 申し送りによる情報共有 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
4	周辺業務	1. お知らせなどの掲示物の管理 2. 車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理 3. 物品の補充や管理 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
5	関連・周辺業務	安全衛生業務（関連業務、周辺業務を行う場合は必ず実施する業務） 上記※に同じ 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
合計時間				○h			○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h

（注意）
予定表には、当該科目の開始月より修了月までの間を矢印（←→）で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素材、材料等	
使用する機械、器具等	①　機械・設備等（必要に応じて使用すること） 1. 入浴：介護用浴槽、入浴用リフト、バスボード、浴槽マット、シャワーチェア、シャワーキャリー、槽内椅子等 2. 移動：スイングアーム介助バー、移動用リフト 3. その他：特殊寝台、スクリーンやカーテン等 ②　用具（必要に応じて使用すること） 1. 整容：洗面容器、ブラシ、タオル、ガーゼ、歯ブラシ、コップ、ガーグルベースン、スポンジブラシ、舌ブラシ、デンタルフロス、綿棒、歯磨き粉、マウスウォッシュ等 2. 入浴：洗面容器、タオル、ガーゼ、スポンジ、石鹸、保湿クリーム、温度計等 3. 食事：食器一式（皿、スプーン、フォーク、ナイフ、箸、コップ等）、食事用エプロン等 4. 排泄：ポータブルトイレ、尿器、便器、おむつ（紙製、布製）、タオル、ガーゼ、トイレットペーパー等 5. 衣服の着脱：衣類（上着類、下着類） 6. 移動：スライディングボード、クッション、体位変換器、車いす（自走、電動含む）、車いす付属品、歩行器 歩行補助杖（T字杖、ロフストランド・クラッチ、多点杖、松葉杖等）等 7. その他：義歯、義肢装具、補聴器、コミュニケーションボード、白杖、眼鏡等　シーツ、タオルケット、毛布、枕、枕カバー等　バイタル計測器、マスク、手袋 調理用具、掃除用具、レクリエーションにかかる道具、リハビリに関する用具等
製品等の例	
指導体制	指導員名：福祉　花子 免許・資格等　1. 介護福祉士 2. 介護支援専門員

様式１－４－②号の別紙

技能実習の内容 必須業務、関連業務及び周辺業務の別 指導員の役職・氏名（経験年数）			詳　細 （具体的な技術）	備　考 （着眼点）
講習				
1		０．共通項目	※体調の確認等、①～④は、全ての身体介護業務に共通して行う	※以下の項目について理解する
		１）体調の確認等	①　あいさつ	・　主体が利用者であることについて ・　体調の確認等を通じて、行う介護行為の方法や可否等を判断することについて
			②　体調の確認	
			③　これから行うことの説明、同意を得る	
			④　（実行後）体調の確認	
		Ⅰ　身体介護業務		
		１．身じたくの介護		
		１）整容の介助		
		（１）整容（洗面、整髪等）	①　必要物品の用意	
			②　体調の確認等	
			③　利用者の好みの確認	
		（２）顔の清拭	①　必要物品の用意	
			②　体調の確認等	
			③　タオルや湯の温度の確認 ・　介護者自身による確認と利用者への確認	
			④　目頭から目尻に拭く ・　同じ面で繰り返し拭かない等	・　感染対策について ・　清潔について
		（３）口腔ケア	①　必要物品の用意	・　上肢の身体機能や歯牙の状態に合わせた口腔ケアの方法について ・　口腔ケアが誤嚥性肺炎や感染症の予防に繋がることについて ・　口腔ケアに用いるさまざまな自助具について
			②　体調の確認等	
			③　自立を促す支援	
			④　口腔内の磨き残しの確認	
			⑤　口腔内の状態の確認 ・　歯牙の欠損や歯周病の確認等	
	必須業務	２）衣服着脱の介助		
		（１）着脱の介助（座位・臥位）	①　体調の確認等	
			②　プライバシーへの配慮	・　本人の好みの尊重、自己選択・自己決定について ・　気候や場面、身体状態に合わせた衣類の選択について
			③　衣服の選択・確認	
			④　安定した姿勢の確認 ア：座位（足底が床につく） イ：臥位（マヒ側への配慮）	
			⑤　脱健着患	・　可動域に配慮した身体の動きについて
			⑥　自立を促す支援	
			⑦　着心地の確認	・　皮膚の状態等の観察のポイントについて
		２．移動の介護		
		１）体位変換		
		（１）体位変換	①　体調の確認等	・　ボディメカニクスについて ・　体位変換の意義について ・　褥瘡ができるからだのしくみについて ・　マヒ側への配慮についての理解について ・　体位変換や褥瘡予防に用いる福祉用具について
			②　ボディメカニクスの活用 ・　利用者の膝を立てる、四肢を小さくまとめる　等	
			③　自立を促す支援 ・　健側の活用等	
			④　安楽な姿勢の保持と確認 ・　利用者の腰を引く ・　クッションやタオルの活用　等	
		（２）起居の介助(起き上がり）	①　体調の確認等	・　ボディメカニクスについて ・　起き上がりの際の血圧変動等からだのしくみについて
			②　自立を促す支援 ・　健側の活用（肘をつく、側臥位になる、ベッド柵に掴まる等）	

			③　利用者の自然な身体の動きを妨げない ・　全介助が必要な場合上体が弧を描くように起き上がる ・　側臥位になって起き上がる場合は先に足を下ろす　等	
			④　安定した座位の保持 ・　ベッドの柵を持つ、ベッドに手をつく、足底が床につく等	
		（３）起居の介助（立位）	①　体調の確認等	・　立ち上がりの際の血圧変動等からだのしくみについて ・　起居に用いる福祉用具について
			②　自立を促す支援 ・　麻痺の場合の膝折れの防止 ・　アームバーの利用　等	
			③　利用者の自然な身体の動きを妨げない	
			④　安定した立位の保持	
		２）移動の介助		
		（１）歩行の介助	①　体調の確認等	・　杖や歩行器等、利用者の身体機能に応じた福祉用具選択について
			②　安全に留意した介助位置 ・　（杖や手すり使用時）マヒ側の後方 ・　（視覚障害者の場合）半歩前　等	
			③　自立を促す支援 ・　身体の機能に応じた福祉用具の選択等	
			④　利用者のペースに合わせる	
			⑤　安全の確保 ・　安全なルートの選択 ・　履物の選択　等	
	必須業務	（２）車いす等への移乗の介助	①　体調の確認等	・　健側の活用について ・　移乗時に用いる福祉用具の機能や特徴について ・　車椅子の種類や扱い方について ・　利用者の身体機能に応じた車椅子等、移動の福祉用具選択について
			②　利用者といすや車いす等との距離を適切に保つ	
			③　安全の確認 ・　いすや車いすが安定しているか ・　（車いすの場合）ブレーキがかかっているか、タイヤの空気は十分か、フットサポートがあがっているかの確認　等	
			④　自立を促す支援 ・　足底が床についている ・　利用者がアームレストを掴むなど前傾姿勢がとれる支援 ・　利用者の健側を軸にしている ・　マヒの場合は膝折れの防止　等	
			⑤　安定した座位 ・　深く腰掛けている ・　足底が床につく、または、フットサポートに乗っている ・　（車いすの場合状況に応じて）利用者の手が大車輪に巻き込まれない位置にある ・　利用者のからだが傾いているときはクッションを活用する　等	
		（３）車いす等の移動の介助	①　体調の確認等	・　生活における移動の意義について
			②　安全の確認 ・　安定した座位が保てている ・　フットサポートに足が乗っている ・　腕や手が大車輪に巻き込まれない位置にある　等	
			③　自立を促す支援 ・　身体機能に合った車いすの選択等	
			④　安全な移動 ・　動き出しや方向転換等場面の変化について説明する ・　止まるときはブレーキをかける　等	・　段差や坂道での車椅子移動の方法について

必須業務	３．食事の介護		
	１）食事の介助	①　体調の確認等	・　禁忌食や治療食について ・　水分補給の必要性について ・　食事摂取と排泄に関連するからだのしくみについて ・　嗜好や行事食等について ・　食事に用いる自助具について ・　身体機能（咀嚼や嚥下状態）にあわせた食事形態について（ミキサー食や刻み食、とろみ剤等）
		②　食事をとる姿勢の保持 ・　顎を引いた前傾姿勢 ・　臥位の場合は、ベッドを 30 度以上に起こす　等	
		③　自立を促す支援 ・　自助具の活用や食事形態の工夫等	
		④　利用者のペースに合わせた安全な介助 ・　利用者の咀嚼と嚥下の確認 ・　利用者の目線と同じ高さで介助している ・　適度に水分を促している　等	
		⑤　食事摂取量の確認	・　食事摂取量の記録と必要性について
	４．入浴・清潔保持の介護		
	１）部分浴の介助		
	（１）手浴の介助	①　必要物品の用意	
		②　体調の確認等	
		③　安楽な姿勢の保持	
		④　湯温の確認 ・　実習生自身が確認した上で、利用者に確認	
		⑤　手浴 ・　指の間など洗い残しがない	・　皮膚の状態の観察について ・　手浴の効果と感染症の予防について
		⑥　爽快感や体調の変化の確認	
	（２）足浴の介助	①　必要物品の用意	・　足浴の効果について（血行促進による安眠効果、感染予防　等） ・　水虫など、皮膚の状態の観察のポイントについて
		②　体調の確認等	
		③　安楽な姿勢の保持	
		④　湯温の確認 ・　実習生自身が確認した上で、利用者に確認	
		⑤　足浴 ・　指の間など洗い残しがない	
		⑥　爽快感や体調の変化の確認	
	２）入浴の介助	・　機械浴（特殊浴槽・チェアー浴等） ・　一般浴槽 （いずれか１つは必ず行う）	・　身体の機能に合わせた入浴方法の選択について
		①　必要物品・浴室内の準備 ・　脱衣所・浴室内の室温管理等	・　ヒートショックに関するからだのしくみと予防について
		②　体調等の確認	
		③　洗身 ・　湯温を実習生の肌で確認した後、利用者に確認 ・　末梢から中枢に向かって洗う ・　利用者の表情や皮膚の状態の観察　等	・　羞恥心への配慮について ・　入浴に関連する身体のしくみについて（血圧や体温の変化等） ・　入浴の作用と効果について ・　入浴に用いる福祉用具について ・　利用者の身体状態と適切な湯温について
		④　洗髪 ・　洗い残しがないか利用者に確認等	
		⑤　入浴（湯船につかる） ・　湯温を実習生の肌で確認した後、利用者に確認 ・　浴槽には健側から入る　等	
		⑥　入浴後の水分補給	・　入浴による発汗作用と脱水防止について
		⑦　爽快感や体調変化の確認	
	３）身体清拭	①　必要物品の用意	
		②　体調の確認等	・　清拭を行う場面やその状況について
		③　安楽な姿勢の保持	・　クッション等を活用した安楽な姿勢について
		④　室温の管理	
		⑤　プライバシーへの配慮 ・　カーテンを引く、ついたてを置く等 ・　バスタオルやタオルケットを用い、肌の露出を控える等	・　羞恥心への配慮について
		⑥　身体の清拭 ・　末梢から中枢へ拭く ・　皮膚の状態の観察　等	
		⑦　爽快感や体調変化の確認	・　身体清拭がもたらす効果について

必須業務		5．排泄の介護		
		1）トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助	①　体調の確認等	・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、排泄環境の整備について
			②　自立を促す支援	
			③　トイレ・ポータブルトイレへの移乗 ・　深く腰掛けている、安定した座位を保てている等	
			④　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの使用等	
			⑤　ズボンや下着等の上げ下ろし ・　転倒防止の配慮（手すりを持ってもらう、身体を支える等）	
			⑥　陰部・臀部の状態の観察	
			⑦　便の性状や尿量等の確認	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑧　清潔の保持 ・　トイレットペーパーで拭く、陰部の洗浄を行う等	
		2）おむつ交換	①　必要物品の用意	・　手洗いやディスポ手袋の使用等、清潔について ・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、おむつ・尿パッド等の選択について ・　尿路感染症等の予防について
			②　体調の確認等	
			③　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの活用等	
			④　陰部の洗浄 ・　シャワーボトルを用いての洗浄やタオル等での陰部の清拭等	
			⑤　陰部・臀部の状態の観察 ・　褥瘡やただれがないかの観察等	
			⑥　便の性状や尿量等の確認	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑦　おむつや衣服、寝具等にしわがない	・　褥瘡予防の視点についいて
		3）尿器・便器を用いた介助	①　必要物品の用意	・　排泄にかかる福祉用具について ・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、尿器・便器等の選択について ・　尿路感染症等の予防について
			②　体調の確認等	
			③　自立を促す支援	
			④　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの活用等	
			⑤　安楽な姿勢を整える ・　ベッドを起こす ・　側臥位の姿勢をとる　等	
			⑥　陰部の洗浄 ・　シャワーボトルを用いての洗浄や清拭タオル等で陰部の尿や便を拭き取る等	
			⑦　陰部・臀部の観察 ・　褥瘡やただれがないかの観察等	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑧　便の性状や尿量の確認	
			⑨　衣服、寝具等にしわがない	・　褥瘡予防の視点の理解について
		Ⅱ　安全衛生業務（※）		
		①　雇い入れ時の安全衛生教育	・　禁忌事項の確認含む	
		②　介護職種における疾病・腰痛予防	・　感染症対策や腰痛体操、ボディメカニクスの活用等	・　ボディメカニクスについて ・　感染予防について ・　介護者の心身の安全について
		③　福祉用具の使用方法・及び点検	・　使用する福祉用具の取り扱い方や点検事項の理解等	・　福祉用具の適切な使用方法について
		④　介護事故防止のための教育	・　ヒヤリハットや事故報告書の事例から学ぶ	・　リスク管理について
		⑤　緊急時・事故発見時の対応	・　事業所においてマニュアルがあればそれに沿って行う等	
		※　必須業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　申し送りや記録に用いる専門用語について ・　利用者との円滑なコミュニケーションを図るための日本語について

2	関連業務	1．掃除、洗濯、調理業務 （必要に応じて実施）		
		①　利用者の居室やトイレ、事業所内の環境整備		・　環境の整備が疾病予防や事故防止に繋がることについて
		②　利用者の衣類等の洗濯		
		③　食事に係る配下膳等		
		④　調理業務（ユニット等で実施されるもの）		
		⑤　利用者の居室のベッドメイキングやシーツ交換		・　プライベートな空間であることについて
		2．機能訓練の補助やレクリエーション業務		・　日常生活リハビリについて ・　季節の行事や文化について
		①　機能訓練の補助や見守り		
		②　レクリエーションの実施や見守り	・　レクリエーションで活用する歌詞カードの作成 ・　行事の準備や実施　等	
		3．記録・申し送り		・　日誌や記録による情報共有の必要性について ・　報告の必要性について
		①　食事や排泄等チェックリストによる記録・報告	・　チェックリストの確認・記入等	
		②　指示を受けた内容に対する報告	・　実習指導者の指示の下、行ったことに対する報告	
		③　日誌やケアプラン等の記録及び確認	・　日誌やケアプラン等の記録から情報収集を行う等	
		④　申し送りによる情報共有	・　申し送りに参加し情報共有する	・　情報共有するための日本語について
		※　関連業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　日誌等の記録を読む、記録を記載するための日本語について
3	周辺業務	1．お知らせなどの掲示物の管理	・　見やすい位置に掲示する ・　お知らせや掲示物を作成する　等	
		2．車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理		・　事故を防止するための福祉用具の点検・管理の必要性について
		3．物品の補充や管理		・　必要時に物品を使用するための補充の必要性について
		※　周辺業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　お知らせなどの作成に向けた日本語について
4	安全衛生業務	安全衛生作業（関連作業・周辺作業を行う場合は必ず実施する作業）　上記※に同じ ※　安全衛生業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		

（2）第２号技能実習実施計画（1年目）（モデル例）

技能実習を行わせる事業所
事業所名　　○○法人　×××事業所　　所在地　東京都新宿区西新宿○-○○-○○
実習期間　　20XX年　XX 月　XX 日　～　20YY年　YY 月　YY日（○年○月○日から訪問介護に従事）

		技能実習の内容 必須業務、関連業務及び周辺業務の例 指導員の役職・氏名（経験年数）	事業所	合計時間	月・時間数 1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
1	必須業務	0. 共通項目（必須業務を行う際、全てにおいて共通） 1）体調の確認等 Ⅰ. 身体介護業務 1. 身じたくの介護 1）整容の介助 （1）整容（洗面、整髪等） （2）顔の清拭 （3）口腔ケア 2）衣服着脱の介助 （1）着脱の介助（座位・臥位） 2. 移動の介護 1）体位変換 （1）体位変換 （2）起居の介助（起き上がり） （3）起居の介助（立位） 2）移動の介助 （1）歩行の介助 （2）車いす等への移乗の介助 （3）車いす等の移動の介助 3. 食事の介護 1）食事の介助 4. 入浴・清潔保持の介護 1）部分浴の介助 （1）手浴の介助 （2）足浴の介助 2）入浴の介助 3）身体清拭 5. 排泄の介護 1）トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助 2）おむつ交換 3）尿器・便器を用いた介助 介護主任　福祉花子（15年）	○○事業所	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
2	必須業務	Ⅱ　安全衛生業務（※） ① 雇い入れ時の安全衛生教育 ② 介護職種における疾病・腰痛予防 ③ 福祉用具の使用方法・及び点検　※ ④ 介護事故防止のための教育 ⑤ 緊急時・事故発見時の対応 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
3	関連業務	1. 掃除、洗濯、調理業務 ① 利用者の居室やトイレ、事業所内の環境整備 ② 利用者の衣類等の洗濯 ③ 食事に係る配下膳等 ④ 調理業務（ユニット等で実施されるもの） ⑤ 利用者の居室のベッドメイキングやシーツ交換 2. 機能訓練の補助やレクリエーション業務 ① 機能訓練の補助や見守り ② レクリエーションの実施や見守り 3. 記録・申し送り ① 食事や排泄等チェックリストによる記録・報告 ② 指示を受けた内容に対する報告 ③ 日誌やケアプラン等の記録及び確認 ④ 申し送りによる情報共有 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
4	周辺業務	1. お知らせなどの掲示物の管理 2. 車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理 3. 物品の補充や管理 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
5	関連・周辺業務	安全衛生業務（関連業務、周辺業務を行う場合は必ず実施する業務） 上記※に同じ 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
合計時間				○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h

（注意）
予定表には、当該科目の開始月より修了月までの間を矢印（←→）で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素材、材料等	
使用する機械、器具等	①　機械・設備等（必要に応じて使用すること） 1. 入浴：介護用浴槽、入浴用リフト、バスボード、浴槽マット、シャワーチェア、シャワーキャリー、槽内椅子等 2. 移動：スイングアーム介助バー、移動用リフト 3. その他：特殊寝台、スクリーンやカーテン等 ②　用具（必要に応じて使用すること） 1. 整容：洗面容器、ブラシ、タオル、ガーゼ、歯ブラシ、コップ、ガーグルベースン、スポンジブラシ、舌ブラシ、デンタルフロス、綿棒、歯磨き粉、マウスウォッシュ等 2. 入浴：洗面容器、タオル、ガーゼ、スポンジ、石鹸、保湿クリーム、温度計等 3. 食事：食器一式（皿、スプーン、フォーク、ナイフ、箸、コップ等）、食事用エプロン等 4. 排泄：ポータブルトイレ、尿器、便器、おむつ（紙製、布製）、タオル、ガーゼ、トイレットペーパー等 5. 衣服の着脱：衣類（上着類、下着類） 6. 移動：スライディングボード、クッション、体位変換器、車いす（自走、電動含む）、車いす付属品、歩行器 歩行補助杖（T字杖、ロフストランド・クラッチ、多点杖、松葉杖等）等 7. その他：義歯、義肢装具、補聴器、コミュニケーションボード、白杖、眼鏡等　シーツ、タオルケット、毛布、枕、枕カバー等　バイタル計測器、マスク、手袋 調理用具、掃除用具、レクリエーションにかかる道具、リハビリに関する用具等
製品等の例	
指導体制	指導員名：福祉　花子 免許・資格等　1. 介護福祉士 2. 介護支援専門員

様式１－４－②号の別紙

技能実習の内容 必須業務、関連業務及び周辺業務の別 指導員の役職・氏名（経験年数）			詳　細 （具体的な技術）	備　考 （着眼点）
1		０．共通項目	※体調の確認等①～④は、全ての身体介護業務に共通して行う	※以下の項目について理解する
		１）体調の確認等	①　あいさつ ②　体調の確認 ③　これから行うことの説明、同意を得る ④　（実行後）体調の確認	・　主体が利用者であることについて ・　体調の確認等を通じて、行う介護行為の方法や可否等を判断することについて
		Ⅰ　身体介護業務		
		１．身じたくの介護		
		１）整容の介助		
		（１）整容（洗面、整髪等）	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　利用者の好みの確認	
		（２）顔の清拭	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　タオルや湯の温度の確認 ・　介護者自身による確認と利用者への確認 ④　目頭から目尻に拭く ・　同じ面で繰り返し拭かない等	・　感染対策について ・　清潔について
		（３）口腔ケア	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　自立を促す支援 ④　口腔内の磨き残しの確認 ⑤　口腔内の状態の確認 ・　歯牙の欠損や歯周病の確認等	・　上肢の身体機能や歯牙の状態に合わせた口腔ケアの方法について ・　口腔ケアが誤嚥性肺炎や感染症の予防に繋がることについて ・　口腔ケアに用いるさまざまな自助具について
	必須業務	２）衣服着脱の介助		
		（１）着脱の介助（座位・臥位）	①　体調の確認等 ②　プライバシーへの配慮 ③　衣服の選択・確認	・　本人の好みの尊重、自己選択・自己決定について ・　気候や場面、身体状態に合わせた衣類の選択について
			④　安定した姿勢の確認 ア：座位（足底が床につく） イ：臥位（マヒ側への配慮）	
			⑤　脱健着患	・　可動域に配慮した身体の動きについて
			⑥　自立を促す支援	
			⑦　着心地の確認	・　皮膚の状態等の観察のポイントについて
		２．移動の介護		
		１）体位変換		
		（１）体位変換	①　体調の確認等 ②　ボディメカニクスの活用 ・　利用者の膝を立てる、四肢を小さくまとめる等 ③　自立を促す支援 ・　健側の活用等 ④　安楽な姿勢の保持と確認 ・　利用者の腰を引く ・　クッションやタオルの活用　等	・　ボディメカニクスについて ・　体位変換の意義について ・　褥瘡ができるからだのしくみについて ・　マヒ側への配慮についての理解について ・　体位変換や褥瘡予防に用いる福祉用具について
		（２）起居の介助(起き上がり)	①　体調の確認等 ②　自立を促す支援 ・　健側の活用（肘をつく、側臥位になる、ベッド柵に掴まる等）	・　ボディメカニクスについて ・　起き上がりの際の血圧変動等からだのしくみについて

			③　利用者の自然な身体の動きを妨げない ・　全介助が必要な場合上体が弧を描くように起き上がる ・　側臥位になって起き上がる場合は先に足を下ろす　等	
			④　安定した座位の保持 ・　ベッドの柵を持つ、ベッドに手をつく、足底が床につく等	
		（３）起居の介助（立位）	①　体調の確認等	・　立ち上がりの際の血圧変動等からだのしくみについて ・　起居に用いる福祉用具について
			②　自立を促す支援 ・　麻痺の場合の膝折れの防止 ・　アームバーの利用　等	
			③　利用者の自然な身体の動きを妨げない	
			④　安定した立位の保持	
		２）移動の介助		
		（１）歩行の介助	①　体調の確認等	・　杖や歩行器等、利用者の身体機能に応じた福祉用具選択について
			②　安全に留意した介助位置 ・　（杖や手すり使用時）マヒ側の後方 ・　（視覚障害者の場合）半歩前　等	
			③　自立を促す支援 ・　身体の機能に応じた福祉用具の選択等	
			④　利用者のペースに合わせる	
			⑤　安全の確保 ・　安全なルートの選択 ・　履物の選択　等	
	必須業務	（２）車いす等への移乗の介助	①　体調の確認等	・　健側の活用について ・　移乗時に用いる福祉用具の機能や特徴について ・　車椅子の種類や扱い方について ・　利用者の身体機能に応じた車椅子等、移動の福祉用具選択について
			②　利用者といすや車いす等との距離を適切に保つ	
			③　安全の確認 ・　いすや車いすが安定しているか ・　（車いすの場合）ブレーキがかかっているか、タイヤの空気は十分か、フットサポートがあがっているかの確認　等	
			④　自立を促す支援 ・　足底が床についている ・　利用者がアームレストを掴むなど前傾姿勢がとれる支援 ・　利用者の健側を軸にしている ・　マヒの場合は膝折れの防止　等	
			⑤　安定した座位 ・　深く腰掛けている ・　足底が床につく、または、フットサポートに乗っている ・　（車いすの場合状況に応じて）利用者の手が大車輪に巻き込まれない位置にある ・　利用者のからだが傾いているときはクッションを活用する　等	
		（３）車いす等の移動の介助	①　体調の確認等	・　生活における移動の意義について
			②　安全の確認 ・　安定した座位が保てている ・　フットサポートに足が乗っている ・　腕や手が大車輪に巻き込まれない位置にある　等	
			③　自立を促す支援 ・　身体機能に合った車いすの選択等	
			④　安全な移動 ・　動き出しや方向転換等場面の変化について説明する ・　止まるときはブレーキをかける　等	・　段差や坂道での車椅子移動の方法について

必須業務		３．食事の介護		
		１）食事の介助	①　体調の確認等	・　禁忌食や治療食について ・　水分補給の必要性について ・　食事摂取と排泄に関連するからだのしくみについて ・　嗜好や行事食等について ・　食事に用いる自助具について ・　身体機能（咀嚼や嚥下状態）にあわせた食事形態について（ミキサー食や刻み食、とろみ剤等）
			②　食事をとる姿勢の保持 ・　顎を引いた前傾姿勢 ・　臥位の場合は、ベッドを 30 度以上に起こす　等	
			③　自立を促す支援 ・　自助具の活用や食事形態の工夫等	
			④　利用者のペースに合わせた安全な介助 ・　利用者の咀嚼と嚥下の確認 ・　利用者の目線と同じ高さで介助している ・　適度に水分を促している　等	
			⑤　食事摂取量の確認	・　食事摂取量の記録と必要性について
		４．入浴・清潔保持の介護		
		１）部分浴の介助		
		（１）手浴の介助	①　必要物品の用意	
			②　体調の確認等	
			③　安楽な姿勢の保持	
			④　湯温の確認 ・　実習生自身が確認した上で、利用者に確認	
			⑤　手浴 ・　指の間など洗い残しがない	・　皮膚の状態の観察について ・　手浴の効果と感染症の予防について
			⑥　爽快感や体調の変化の確認	
		（２）足浴の介助	①　必要物品の用意	・　足浴の効果について（血行促進による安眠効果、感染予防　等） ・　水虫など、皮膚の状態の観察のポイントについて
			②　体調の確認等	
			③　安楽な姿勢の保持	
			④　湯温の確認 ・　実習生自身が確認した上で、利用者に確認	
			⑤　足浴 ・　指の間など洗い残しがない	
			⑥　爽快感や体調の変化の確認	
		２）入浴の介助	・　機械浴（特殊浴槽・チェアー浴等） ・　一般浴槽 （いずれか１つは必ず行う）	・　身体の機能に合わせた入浴方法の選択について
			①　必要物品・浴室内の準備 ・　脱衣所・浴室内の室温管理	・　ヒートショックに関するからだのしくみと予防について
			②　体調等の確認	
			③　洗身 ・　湯温を実習生の肌で確認した後、利用者に確認 ・　末梢から中枢に向かって洗う ・　利用者の表情や皮膚の状態の観察　等	・　羞恥心への配慮について ・　入浴に関連する身体のしくみについて（血圧や体温の変化等） ・　入浴の作用と効果について ・　入浴に用いる福祉用具について ・　利用者の身体状態と適切な湯温について
			④　洗髪 ・　洗い残しがないか利用者に確認等	
			⑤　入浴（湯船につかる） ・　湯温を実習生の肌で確認した後、利用者に確認 ・　浴槽には健側から入る　等	
			⑥　入浴後の水分補給	・　入浴による発汗作用と脱水防止について
			⑦　爽快感や体調変化の確認	
		３）身体清拭	①　必要物品の用意	
			②　体調の確認等	・　清拭を行う場面やその状況について
			③　安楽な姿勢の保持	・　クッション等を活用した安楽な姿勢について
			④　室温の管理	
			⑤　プライバシーへの配慮 ・　カーテンを引く、ついたてを置く　等 ・　バスタオルやタオルケットを用い、肌の露出を控える　等	・　羞恥心への配慮について
			⑥　身体の清拭 ・　末梢から中枢へ拭く ・　皮膚の状態の観察　等	
			⑦　爽快感や体調変化の確認	・　身体清拭がもたらす効果について

必須業務		5．排泄の介護		
		1）トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助	①　体調の確認等	・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、排泄環境の整備について
			②　自立を促す支援	
			③　トイレ・ポータブルトイレへの移乗 ・　深く腰掛けている、安定した座位を保てている　等	
			④　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの使用等	
			⑤　ズボンや下着等の上げ下ろし ・　転倒防止の配慮（手すりを持ってもらう、身体を支える等）	
			⑥　陰部・臀部の状態の観察	
			⑦　便の性状や尿量等の確認	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑧　清潔の保持 ・　トイレットペーパーで拭く、陰部の洗浄を行う等	
		2）おむつ交換	①　必要物品の用意	・　手洗いやディスポ手袋の使用等、清潔について ・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、おむつ・尿パッド等の選択について ・　尿路感染症等の予防について
			②　体調の確認等	
			③　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの活用　等	
			④　陰部の洗浄 ・　シャワーボトルを用いての洗浄やタオル等での陰部の清拭等	
			⑤　陰部・臀部の状態の観察 ・　褥瘡やただれがないかの観察等	
			⑥　便の性状や尿量等の確認	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑦　おむつや衣服、寝具等にしわがない	・　褥瘡予防の視点についいて
		3）尿器・便器を用いた介助	①　必要物品の用意	・　排泄にかかる福祉用具について ・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、尿器・便器等の選択について ・　尿路感染症等の予防について
			②　体調の確認等	
			③　自立を促す支援	
			④　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの活用等	
			⑤　安楽な姿勢を整える ・　ベッドを起こす ・　側臥位の姿勢をとる　等	
			⑥　陰部の洗浄 ・　シャワーボトルを用いての洗浄や清拭タオル等で陰部の尿や便を拭き取る等	
			⑦　陰部・臀部の観察 ・　褥瘡やただれがないかの観察等	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑧　便の性状や尿量の確認	
			⑨　衣服、寝具等にしわがない	・　褥瘡予防の視点の理解について
		Ⅱ　安全衛生業務（※）		
		①　雇い入れ時の安全衛生教育	・　禁忌事項の確認含む	
		②　介護職種における疾病・腰痛予防	・　感染症対策や腰痛体操、ボディメカニクスの活用等	・　ボディメカニクスについて ・　感染予防について ・　介護者の心身の安全について
		③　福祉用具の使用方法・及び点検	・　使用する福祉用具の取り扱い方や点検事項の理解等	・　福祉用具の適切な使用方法について
		④　介護事故防止のための教育	・　ヒヤリハットや事故報告書の事例から学ぶ	・　リスク管理について
		⑤　緊急時・事故発見時の対応	・　事業所においてマニュアルがあればそれに沿って行う等	
		※　必須業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　申し送りや記録に用いる専門用語について ・　利用者との円滑なコミュニケーションを図るための日本語について

2	関連業務	1．掃除、洗濯、調理業務 （必要に応じて実施）		
		①　利用者の居室やトイレ、事業所内の環境整備		・　環境の整備が疾病予防や事故防止に繋がることについて
		②　利用者の衣類等の洗濯		
		③　食事に係る配下膳等		
		④　調理業務（ユニット等で実施されるもの）		
		⑤　利用者の居室のベッドメイキングやシーツ交換		・　プライベートな空間であることについて
		2．機能訓練の補助やレクリエーション業務		・　日常生活リハビリについて ・　季節の行事や文化について
		①　機能訓練の補助や見守り		
		②　レクリエーションの実施や見守り	・　レクリエーションで活用する歌詞カード等の作成 ・　行事の準備や実施　等	
		3．記録・申し送り		・　日誌や記録による情報共有の必要性について ・　報告、連絡、相談の必要性について
		①　食事や排泄等チェックリストによる記録・報告	・　チェックリストの確認・記入等	
		②　指示を受けた内容に対する報告	・　実習指導者の指示の下、行ったことに対する報告	
		③　日誌やケアプラン等の記録及び確認	・　日誌やケアプラン等の記録から情報収集を行う等	
		④　申し送りによる情報共有	・　申し送りに参加し、情報共有する等	・　情報を共有するための日本語について
		※　関連業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　日誌等の記録を読む、記録を記載するための日本語について
3	周辺業務	1．お知らせなどの掲示物の管理	・　見やすい位置に掲示する ・　お知らせや掲示物を作成する　等	
		2．車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理		・　事故を防止するための福祉用具の点検・管理の必要性について
		3．物品の補充や管理		・　必要時に物品を使用するための補充の必要性について
		※　周辺業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　お知らせなどの作成に向けた日本語について
4	安全衛生業務	安全衛生作業（関連作業・周辺作業を行う場合は必ず実施する作業）　上記※に同じ ※　安全衛生業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		

（3）第２号技能実習実施計画（２年目）（モデル例）

技能実習を行わせる事業所
事業所名　　○○法人　×××事業所　　所在地　東京都新宿区西新宿○-○○-○○
実習期間　　20XX年　XX 月　XX 日　～　20YY年　YY 月　YY日（○年○月○日から訪問介護に従事）

		技能実習の内容 必須業務、関連業務及び周辺業務の例 指導員の役職・氏名（経験年数）	事業所	合計時間	月・時間数 1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
1	必須業務	0. 共通項目（必須業務を行う際、全てにおいて共通） 1）体調の確認等 Ⅰ. 身体介護業務 1. 身じたくの介助 1）整容の介助 （1）整容（洗面、整髪等） （2）顔の清拭 （3）口腔ケア 2）衣服着脱の介助 （1）着脱の介助（座位・臥位） 2. 移動の介護 1）体位変換 （1）体位変換 （2）起居の介助（起き上がり） （3）起居の介助（立位） 2）移動の介助 （1）歩行の介助 （2）車いす等への移乗の介助 （3）車いす等の移動の介助 3. 食事の介護 1）食事の介助 4. 入浴・清潔保持の介護 1）部分浴の介助 （1）手浴の介助 （2）足浴の介助 2）入浴の介助 3）身体清拭 5. 排泄の介護 1）トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助 2）おむつ交換 3）尿器・便器を用いた介助 介護主任　福祉花子（15年）	○○事業所	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
2	必須業務	Ⅱ　安全衛生業務（※） ① 雇い入れ時の安全衛生教育 ② 介護職種における疾病・腰痛予防 ③ 福祉用具の使用方法・及び点検　※ ④ 介護事故防止のための教育 ⑤ 緊急時・事故発見時の対応 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
3	関連業務	1. 掃除、洗濯、調理業務 ① 利用者の居室やトイレ、事業所内の環境整備 ② 利用者の衣類等の洗濯 ③ 食事に係る配下膳等 ④ 調理業務（ユニット等で実施されるもの） ⑤ 利用者の居室のベッドメイキングやシーツ交換 2. 機能訓練の補助やレクリエーション業務 ① 機能訓練の補助や見守り ② レクリエーションの実施や見守り 3. 記録・申し送り ① 食事や排泄等チェックリストによる記録・報告 ② 指示を受けた内容に対する報告 ③ 日誌やケアプラン等の記録及び確認 ④ 申し送りによる情報共有 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
4	周辺業務	1. お知らせなどの掲示物の管理 2. 車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理 3. 物品の補充や管理 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
5	関連・周辺業務	安全衛生業務（関連業務、周辺業務を行う場合は必ず実施する業務） 上記※に同じ 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
合計時間				○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h

（注意）
予定表には、当該科目の開始月より修了月までの間を矢印（←→）で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素材、材料等	
使用する機械、器具等	①　機械・設備等（必要に応じて使用すること） 1. 入浴：介護用浴槽、入浴用リフト、バスボード、浴槽マット、シャワーチェア、シャワーキャリー、槽内椅子等 2. 移動：スイングアーム介助バー、移動用リフト 3. その他：特殊寝台、スクリーンやカーテン等 ②　用具（必要に応じて使用すること） 1. 整容：洗面容器、ブラシ、タオル、ガーゼ、歯ブラシ、コップ、ガーグルベースン、スポンジブラシ、舌ブラシ、デンタルフロス、綿棒、歯磨き粉、マウスウォッシュ等 2. 入浴：洗面容器、タオル、ガーゼ、スポンジ、石鹸、保湿クリーム、温度計等 3. 食事：食器一式（皿、スプーン、フォーク、ナイフ、箸、コップ等）、食事用エプロン等 4. 排泄：ポータブルトイレ、尿器、便器、おむつ（紙製、布製）、タオル、ガーゼ、トイレットペーパー等 5. 衣服の着脱：衣類（上着類、下着類） 6. 移動：スライディングボード、クッション、体位変換器、車いす（自走、電動含む）、車いす付属品、歩行器 歩行補助杖（T字杖、ロフストランド・クラッチ、多点杖、松葉杖等）等 7. その他：義歯、義肢装具、補聴器、コミュニケーションボード、白杖、眼鏡等　シーツ、タオルケット、毛布、枕、枕カバー等　バイタル計測器、マスク、手袋 調理用具、掃除用具、レクリエーションにかかる道具、リハビリに関する用具等
製品等の例	
指導体制	指導員名：福祉　花子 免許・資格等　1. 介護福祉士 2. 介護支援専門員

様式１－４－②号の別紙

技能実習の内容 必須業務、関連業務及び周辺業務の別 指導員の役職・氏名（経験年数）			詳　細 （具体的な技術）	備　考 （着眼点）
1		０．共通項目	※体調の確認等①～④は、全ての身体介護業務に共通して行う	※以下の項目について理解する
		１）体調の確認等	①　あいさつ ②　体調の確認 ③　これから行うことの説明、同意を得る ④　（実行後）体調の確認	・　主体が利用者であることについて ・　体調の確認等を通じて、行う介護行為の方法や可否等を判断することについて
		Ⅰ　身体介護業務		
		１．身じたくの介護		
		１）整容の介助		
		（１）整容（洗面、整髪等）	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　利用者の好みの確認	
		（２）顔の清拭	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　タオルや湯の温度の確認 ・　介護者自身による確認と利用者への確認 ④　目頭から目尻に拭く ・　同じ面で繰り返し拭かない等	・　感染対策について ・　清潔について
		（３）口腔ケア	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　自立を促す支援 ④　口腔内の磨き残しの確認 ⑤　口腔内の状態の確認 ・　歯牙の欠損や歯周病の確認等	・　上肢の身体機能や歯牙の状態に合わせた口腔ケアの方法について ・　口腔ケアが誤嚥性肺炎や感染症の予防に繋がることについて ・　口腔ケアに用いるさまざまな自助具について
	必須業務	２）衣服着脱の介助		
		（１）着脱の介助（座位・臥位）	①　体調の確認等 ②　プライバシーへの配慮 ③　衣服の選択・確認	・　本人の好みの尊重、自己選択・自己決定について ・　気候や場面、身体状態に合わせた衣類の選択について
			④　安定した姿勢の確認 ア：座位（足底が床につく） イ：臥位（マヒ側への配慮）	
			⑤　脱健着患	・　可動域に配慮した身体の動きについて
			⑥　自立を促す支援	
			⑦　着心地の確認	・　皮膚の状態等の観察のポイントについて
		２．移動の介護		
		１）体位変換		
		（１）体位変換	①　体調の確認等 ②　ボディメカニクスの活用 ・　利用者の膝を立てる、四肢を小さくまとめる等 ③　自立を促す支援 ・　健側の活用等 ④　安楽な姿勢の保持と確認 ・　利用者の腰を引く ・　クッションやタオルの活用　等	・　ボディメカニクスについて ・　体位変換の意義について ・　褥瘡ができるからだのしくみについて ・　マヒ側への配慮についての理解について ・　体位変換や褥瘡予防に用いる福祉用具について
		（２）起居の介助(起き上がり)	①　体調の確認等 ②　自立を促す支援 ・　健側の活用（肘をつく、側臥位になる、ベッド柵に掴まる等）	・　ボディメカニクスについて ・　起き上がりの際の血圧変動等からだのしくみについて

	必須業務		③　利用者の自然な身体の動きを妨げない ・　全介助が必要な場合上体が弧を描くように起き上がる ・　側臥位になって起き上がる場合は先に足を下ろす　等	
			④　安定した座位の保持 ・　ベッドの柵を持つ、ベッドに手をつく、足底が床につく等	
		（３）起居の介助（立位）	①　体調の確認等	・　立ち上がりの際の血圧変動等からだのしくみについて ・　起居に用いる福祉用具について
			②　自立を促す支援 ・　麻痺の場合の膝折れの防止 ・　アームバーの利用　等	
			③　利用者の自然な身体の動きを妨げない	
			④　安定した立位の保持	
		２）移動の介助		
		（１）歩行の介助	①　体調の確認等	・　杖や歩行器等、利用者の身体機能に応じた福祉用具選択について
			②　安全に留意した介助位置 ・　（杖や手すり使用時）マヒ側の後方 ・　（視覚障害者の場合）半歩前　等	
			③　自立を促す支援 ・　身体の機能に応じた福祉用具の選択等	
			④　利用者のペースに合わせる	
			⑤　安全の確保 ・　安全なルートの選択 ・　履物の選択　等	
		（２）車いす等への移乗の介助	①　体調の確認等	・　健側の活用について ・　移乗時に用いる福祉用具の機能や特徴について ・　車椅子の種類や扱い方について ・　利用者の身体機能に応じた車椅子等、移動の福祉用具選択について
			②　利用者といすや車いす等との距離を適切に保つ	
			③　安全の確認 ・　いすや車いすが安定しているか ・　（車いすの場合）ブレーキがかかっているか、タイヤの空気は十分か、フットサポートがあがっているかの確認　等	
			④　自立を促す支援 ・　足底が床についている ・　利用者がアームレストを掴むなど前傾姿勢がとれる支援 ・　利用者の健側を軸にしている ・　マヒの場合は膝折れの防止　等	
			⑤　安定した座位 ・　深く腰掛けている ・　足底が床につく、または、フットサポートに乗っている ・　（車いすの場合状況に応じて）利用者の手が大車輪に巻き込まれない位置にある ・　利用者のからだが傾いているときはクッションを活用する　等	
		（３）車いす等の移動の介助	①　体調の確認等	・　生活における移動の意義について
			②　安全の確認 ・　安定した座位が保てている ・　フットサポートに足が乗っている ・　腕や手が大車輪に巻き込まれない位置にある　等	
			③　自立を促す支援 ・　身体機能に合った車いすの選択等	
			④　安全な移動 ・　動き出しや方向転換等場面の変化について説明する ・　止まるときはブレーキをかける　等	・　段差や坂道での車椅子移動の方法について

		３．食事の介護		
		１）食事の介助	①　体調の確認等	・　禁忌食や治療食について ・　水分補給の必要性について ・　食事摂取と排泄に関連するからだのしくみについて ・　嗜好や行事食等について ・　食事に用いる自助具について ・　身体機能（咀嚼や嚥下状態）にあわせた食事形態について（ミキサー食や刻み食、とろみ剤等）
			②　食事をとる姿勢の保持 ・　顎を引いた前傾姿勢 ・　臥位の場合は、ベッドを 30 度以上に起こす　等	
			③　自立を促す支援 ・　自助具の活用や食事形態の工夫等	
			④　利用者のペースに合わせた安全な介助 ・　利用者の咀嚼と嚥下の確認 ・　利用者の目線と同じ高さで介助している ・　適度に水分を促している　等	
			⑤　食事摂取量の確認	・　食事摂取量の記録と必要性について
		４．入浴・清潔保持の介護		
		１）部分浴の介助		
		（１）手浴の介助	①　必要物品の用意	
			②　体調の確認等	
			③　安楽な姿勢の保持	
			④　湯温の確認 ・　実習生自身が確認した上で、利用者に確認	
			⑤　手浴 ・　指の間など洗い残しがない	・　皮膚の状態の観察について ・　手浴の効果と感染症の予防について
			⑥　爽快感や体調の変化の確認	
		（２）足浴の介助	①　必要物品の用意	・　足浴の効果について（血行促進による安眠効果、感染予防　等） ・　水虫など、皮膚の状態の観察のポイントについて
			②　体調の確認等	
			③　安楽な姿勢の保持	
			④　湯温の確認 ・　実習生自身が確認した上で、利用者に確認	
			⑤　足浴 ・　指の間など洗い残しがない	
			⑥　爽快感や体調の変化の確認	
		２）入浴の介助	・　機械浴（特殊浴槽・チェアー浴等） ・　一般浴槽 （いずれか１つは必ず行う）	・　身体の機能に合わせた入浴方法の選択について
			①　必要物品・浴室内の準備 ・　脱衣所・浴室内の室温管理	・　ヒートショックに関するからだのしくみと予防について
			②　体調等の確認	
			③　洗身 ・　湯温を実習生の肌で確認した後、利用者に確認 ・　末梢から中枢に向かって洗う ・　利用者の表情や皮膚の状態の観察　等	・　羞恥心への配慮について ・　入浴に関連する身体のしくみについて（血圧や体温の変化等） ・　入浴の作用と効果について ・　入浴に用いる福祉用具について ・　利用者の身体状態と適切な湯温について
			④　洗髪 ・　洗い残しがないか利用者に確認等	
			⑤　入浴（湯船につかる） ・　湯温を実習生の肌で確認した後、利用者に確認 ・　浴槽には健側から入る　等	
			⑥　入浴後の水分補給	・　入浴による発汗作用と脱水防止について
			⑦　爽快感や体調変化の確認	
		３）身体清拭	①　必要物品の用意	
			②　体調の確認等	・　清拭を行う場面やその状況について
			③　安楽な姿勢の保持	・　クッション等を活用した安楽な姿勢について
			④　室温の管理	
			⑤　プライバシーへの配慮 ・　カーテンを引く、ついたてを置く　等 ・　バスタオルやタオルケットを用い、肌の露出を控える　等	・　羞恥心への配慮について
			⑥　身体の清拭 ・　末梢から中枢へ拭く ・　皮膚の状態の観察　等	
			⑦　爽快感や体調変化の確認	・　身体清拭がもたらす効果について

必須業務

必須業務		５．排泄の介護		
		１）トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助	①　体調の確認等	・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、排泄環境の整備について
			②　自立を促す支援	
			③　トイレ・ポータブルトイレへの移乗 ・　深く腰掛けている、安定した座位を保てている　等	
			④　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの使用等	
			⑤　ズボンや下着等の上げ下ろし ・　転倒防止の配慮（手すりを持ってもらう、身体を支える等）	
			⑥　陰部・臀部の状態の観察	
			⑦　便の性状や尿量等の確認	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑧　清潔の保持 ・　トイレットペーパーで拭く、陰部の洗浄を行う等	
		２）おむつ交換	①　必要物品の用意	・　手洗いやディスポ手袋の使用等、清潔について ・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、おむつ・尿パッド等の選択について ・　尿路感染症等の予防について
			②　体調の確認等	
			③　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの活用　等	
			④　陰部の洗浄 ・　シャワーボトルを用いての洗浄やタオル等での陰部の清拭等	
			⑤　陰部・臀部の状態の観察 ・　褥瘡やただれがないかの観察等	
			⑥　便の性状や尿量等の確認	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑦　おむつや衣服、寝具等にしわがない	・　褥瘡予防の視点についいて
		３）尿器・便器を用いた介助	①　必要物品の用意	・　排泄にかかる福祉用具について ・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、尿器・便器等の選択について ・　尿路感染症等の予防について
			②　体調の確認等	
			③　自立を促す支援	
			④　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの活用等	
			⑤　安楽な姿勢を整える ・　ベッドを起こす ・　側臥位の姿勢をとる　等	
			⑥　陰部の洗浄 ・　シャワーボトルを用いての洗浄や清拭タオル等で陰部の尿や便を拭き取る等	
			⑦　陰部・臀部の観察 ・　褥瘡やただれがないかの観察等	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑧　便の性状や尿量の確認	
			⑨　衣服、寝具等にしわがない	・　褥瘡予防の視点の理解について
		Ⅱ　安全衛生業務（※）		
		①　雇い入れ時の安全衛生教育	・　禁忌事項の確認含む	
		②　介護職種における疾病・腰痛予防	・　感染症対策や腰痛体操、ボディメカニクスの活用等	・　ボディメカニクスについて ・　感染予防について ・　介護者の心身の安全について
		③　福祉用具の使用方法・及び点検	・　使用する福祉用具の取り扱い方や点検事項の理解等	・　福祉用具の適切な使用方法について
		④　介護事故防止のための教育	・　ヒヤリハットや事故報告書の事例から学ぶ	・　リスク管理について
		⑤　緊急時・事故発見時の対応	・　事業所においてマニュアルがあればそれに沿って行う等	
		※　必須業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　申し送りや記録に用いる専門用語について ・　利用者との円滑なコミュニケーションを図るための日本語について

2	関連業務	1．掃除、洗濯、調理業務 （必要に応じて実施）		
		①　利用者の居室やトイレ、事業所内の環境整備		・　環境の整備が疾病予防や事故防止に繋がることについて
		②　利用者の衣類等の洗濯		
		③　食事に係る配下膳等		
		④　調理業務（ユニット等で実施されるもの）		
		⑤　利用者の居室のベッドメイキングやシーツ交換		・　プライベートな空間であることについて
		2．機能訓練の補助やレクリエーション業務		・　日常生活リハビリについて ・　季節の行事や文化について
		①　機能訓練の補助や見守り		
		②　レクリエーションの実施や見守り	・　レクリエーションで活用する歌詞カード等の作成 ・　行事の準備や実施　等	
		3．記録・申し送り		・　日誌や記録による情報共有の必要性について ・　報告、連絡、相談の必要性について
		①　食事や排泄等チェックリストによる記録・報告	・　チェックリストの確認・記入等	
		②　指示を受けた内容に対する報告	・　実習指導者の指示の下、行ったことに対する報告	
		③　日誌やケアプラン等の記録及び確認	・　日誌やケアプラン等の記録から情報収集を行う等	
		④　申し送りによる情報共有	・　申し送りに参加し、情報共有する等	・　情報を共有するための日本語について
		※　関連業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　日誌等の記録を読む、記録を記載するための日本語について
3	周辺業務	1．お知らせなどの掲示物の管理	・　見やすい位置に掲示する ・　お知らせや掲示物を作成する　等	
		2．車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理		・　事故を防止するための福祉用具の点検・管理の必要性について
		3．物品の補充や管理		・　必要時に物品を使用するための補充の必要性について
		※　周辺業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　お知らせなどの作成に向けた日本語について
4	安全衛生業務	安全衛生作業（関連作業・周辺作業を行う場合は必ず実施する作業）　上記※に同じ ※　安全衛生業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		

（4）第３号技能実習実施計画（１年目）（モデル例）

技能実習を行わせる事業所
事業所名　　○○法人　×××事業所　　所在地　東京都新宿区西新宿○-○○-○○
実習期間　　20XX年　XX 月　XX 日　～　20YY年　YY 月　YY日（○年○月○日から訪問介護に従事）

		技能実習の内容 必須業務、関連業務及び周辺業務の例 指導員の役職・氏名（経験年数）	事業所	合計時間	月・時間数 1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
1	必須業務	0. 共通項目（必須業務を行う際、全てにおいて共通） 1）体調の確認等 Ⅰ 身体介護業務 1. 身じたくの介護 1）整容の介助 （1）整容（洗面、整髪等） （2）顔の清拭 （3）口腔ケア 2）衣服着脱の介助 （1）着脱の介助（座位・臥位） 2. 移動の介護 1）体位変換 （1）体位変換 （2）起居の介助（起き上がり） （3）起居の介助（立位） 2）移動の介助 （1）歩行の介助 （2）車いす等への移乗の介助 （3）車いす等の移動の介助 3. 食事の介護 1）食事の介助 4. 入浴・清潔保持の介護 1）部分浴の介助 （1）手浴の介助 （2）足浴の介助 2）入浴の介助 3）身体清拭 5. 排泄の介護 1）トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助 2）おむつ交換 3）尿器・便器を用いた介助 6. 利用者特性に応じた対応（認知症、障害等） 1）利用者特性に応じた対応 介護主任　福祉花子（15年）	○○事業所	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
2	必須業務	Ⅱ 安全衛生業務（※） ① 雇い入れ時の安全衛生教育 ② 介護職種における疾病・腰痛予防 ③ 福祉用具の使用方法・及び点検 ④ 介護事故防止のための教育 ⑤ 緊急時・事故発見時の対応 介護主任　福祉花子（15年）	※	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
3	関連業務	1. 掃除、洗濯、調理業務 ① 利用者の居室やトイレ、事業所内の環境整備 ② 利用者の衣類等の洗濯 ③ 食事に係る配下膳等 ④ 調理業務（ユニット等で実施されるもの） ⑤ 利用者の居室のベッドメイキングやシーツ交換 2. 機能訓練の補助やレクリエーション業務 ① 機能訓練の補助や見守り ② レクリエーションの実施や見守り 3. 記録・申し送り ① 食事や排泄等チェックリストによる記録・報告 ② 指示を受けた内容に対する報告 ③ 日誌やケアプラン等の記録及び確認 ④ 申し送りによる情報共有 介護主任　福祉花子（15年）		同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
4	周辺業務	1. お知らせなどの掲示物の管理 2. 車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理 3. 物品の補充や管理 介護主任　福祉花子（15年）		同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
5	関連・周辺業務	安全衛生業務（関連業務、周辺業務を行う場合は必ず実施する業務） 上記※に同じ 介護主任　福祉花子（15年）		同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
合　計　時　間					○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h

（注意）
予定表には、当該科目の開始月より修了月までの間を矢印（←→）で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素材、材料等	
使用する機械、器具等	①　機械・設備等（必要に応じて使用すること） 1. 入浴：介護用浴槽、入浴用リフト、バスボード、浴槽マット、シャワーチェア、シャワーキャリー、槽内椅子等 2. 移動：スイングアーム介助バー、移動用リフト 3. その他：特殊寝台、スクリーンやカーテン等 ②　用具（必要に応じて使用すること） 1. 整容：洗面容器、ブラシ、タオル、ガーゼ、歯ブラシ、コップ、ガーグルベースン、スポンジブラシ、舌ブラシ、デンタルフロス、綿棒、歯磨き粉、マウスウォッシュ等 2. 入浴：洗面容器、タオル、ガーゼ、スポンジ、石鹸、保湿クリーム、温度計等 3. 食事：食器一式（皿、スプーン、フォーク、ナイフ、箸、コップ等）、食事用エプロン等 4. 排泄：ポータブルトイレ、尿器、便器、おむつ（紙製、布製）、タオル、ガーゼ、トイレットペーパー等 5. 衣服の着脱：衣類（上着類、下着類） 6. 移動：スライディングボード、クッション、体位変換器、車いす（自走、電動含む）、車いす付属品、歩行器 歩行補助杖（T字杖、ロフストランド・クラッチ、多点杖、松葉杖等）等 7. その他：義歯、義肢装具、補聴器、コミュニケーションボード、白杖、眼鏡等　シーツ、タオルケット、毛布、枕、枕カバー等　バイタル計測器、マスク、手袋 調理用具、掃除用具、レクリエーションにかかる道具、リハビリに関する用具等
製品等の例	
指導体制	指導員名：福祉　花子 免許・資格等　1. 介護福祉士 2. 介護支援専門員

様式１－４－②号の別紙

技能実習の内容 必須業務、関連業務及び周辺業務の別 指導員の役職・氏名（経験年数）			詳　細 （具体的な技術）	備　考 （着眼点）
1	必須業務	０．共通項目	※体調の確認等①～④は、全ての身体介護業務に共通して行う	※以下の項目について理解する
		１）体調の確認等	①　あいさつ ②　体調の確認 ③　これから行うことの説明、同意を得る ④　（実行後）体調の確認	・　主体が利用者であることについて ・　体調の確認等を通じて、行う介護行為の方法や可否等を判断することについて
		Ⅰ　身体介護業務		
		１．身じたくの介護		
		１）整容の介助		
		（１）整容（洗面、整髪等）	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　利用者の好みの確認	
		（２）顔の清拭	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　タオルや湯の温度の確認 ・　介護者自身による確認と利用者への確認 ④　目頭から目尻に拭く ・　同じ面で繰り返し拭かない等	・　感染対策について ・　清潔について
		（３）口腔ケア	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　自立を促す支援 ④　口腔内の磨き残しの確認 ⑤　口腔内の状態の確認 ・　歯牙の欠損や歯周病の確認等	・　上肢の身体機能や歯牙の状態に合わせた口腔ケアの方法について ・　口腔ケアが誤嚥性肺炎や感染症の予防に繋がることについて ・　口腔ケアに用いるさまざまな自助具について
		２）衣服着脱の介助		
		（１）着脱の介助（座位・臥位）	①　体調の確認等 ②　プライバシーへの配慮 ③　衣服の選択・確認	・　本人の好みの尊重、自己選択・自己決定について ・　気候や場面、身体状態に合わせた衣類の選択について
			④　安定した姿勢の確認 ア：座位（足底が床につく） イ：臥位（マヒ側への配慮）	
			⑤　脱健着患	・　可動域に配慮した身体の動きについて
			⑥　自立を促す支援	
			⑦　着心地の確認	・　皮膚の状態等の観察のポイントについて
		２．移動の介護		
		１）体位変換		
		（１）体位変換	①　体調の確認等 ②　ボディメカニクスの活用 ・　利用者の膝を立てる、四肢を小さくまとめる等 ③　自立を促す支援 ・　健側の活用等 ④　安楽な姿勢の保持と確認 ・　利用者の腰を引く ・　クッションやタオルの活用　等	・　ボディメカニクスについて ・　体位変換の意義について ・　褥瘡ができるからだのしくみについて ・　マヒ側への配慮についての理解について ・　体位変換や褥瘡予防に用いる福祉用具について
		（２）起居の介助(起き上がり)	①　体調の確認等 ②　自立を促す支援 ・　健側の活用（肘をつく、側臥位になる、ベッド柵に掴まる等）	・　ボディメカニクスについて ・　起き上がりの際の血圧変動等からだのしくみについて

			③　利用者の自然な身体の動きを妨げない ・　全介助が必要な場合上体が弧を描くように起き上がる ・　側臥位になって起き上がる場合は先に足を下ろす　等	
			④　安定した座位の保持 ・　ベッドの柵を持つ、ベッドに手をつく、足底が床につく等	
		（３）起居の介助（立位）	①　体調の確認等	・　立ち上がりの際の血圧変動等からだのしくみについて ・　起居に用いる福祉用具について
			②　自立を促す支援 ・　麻痺の場合の膝折れの防止 ・　アームバーの利用　等	
			③　利用者の自然な身体の動きを妨げない	
			④　安定した立位の保持	
		２）移動の介助		
		（１）歩行の介助	①　体調の確認等	・　杖や歩行器等、利用者の身体機能に応じた福祉用具選択について
			②　安全に留意した介助位置 ・　（杖や手すり使用時）マヒ側の後方 ・　（視覚障害者の場合）半歩前　等	
			③　自立を促す支援 ・　身体の機能に応じた福祉用具の選択等	
			④　利用者のペースに合わせる	
			⑤　安全の確保 ・　安全なルートの選択 ・　履物の選択　等	
	必須業務	（２）車いす等への移乗の介助	①　体調の確認等	・　健側の活用について ・　移乗時に用いる福祉用具の機能や特徴について ・　車椅子の種類や扱い方について ・　利用者の身体機能に応じた車椅子等、移動の福祉用具選択について
			②　利用者といすや車いす等との距離を適切に保つ	
			③　安全の確認 ・　いすや車いすが安定しているか ・　（車いすの場合）ブレーキがかかっているか、タイヤの空気は十分か、フットサポートがあがっているかの確認等	
			④　自立を促す支援 ・　足底が床についている ・　利用者がアームレストを掴むなど前傾姿勢がとれる支援 ・　利用者の健側を軸にしている ・　マヒの場合は膝折れの防止　等	
			⑤　安定した座位 ・　深く腰掛けている ・　足底が床につく、または、フットサポートに乗っている ・　（車いすの場合状況に応じて）利用者の手が大車輪に巻き込まれない位置にある ・　利用者のからだが傾いているときはクッションを活用する　等	
		（３）車いす等の移動の介助	①　体調の確認等	・　生活における移動の意義について
			②　安全の確認 ・　安定した座位が保てている ・　フットサポートに足が乗っている ・　腕や手が大車輪に巻き込まれない位置にある　等	
			③　自立を促す支援 ・　身体機能に合った車いすの選択等	
			④　安全な移動 ・　動き出しや方向転換等場面の変化について説明する ・　止まるときはブレーキをかける　等	・　段差や坂道での車椅子移動の方法について

必須業務	３．食事の介護		
	１）食事の介助	①　体調の確認等	・　禁忌食や治療食について ・　水分補給の必要性について ・　食事摂取と排泄に関連するからだのしくみについて ・　嗜好や行事食等について ・　食事に用いる自助具について ・　身体機能（咀嚼や嚥下状態）にあわせた食事形態について（ミキサー食や刻み食、とろみ剤等）
		②　食事をとる姿勢の保持 ・　顎を引いた前傾姿勢 ・　臥位の場合は、ベッドを 30 度以上に起こす　等	
		③　自立を促す支援 ・　自助具の活用や食事形態の工夫等	
		④　利用者のペースに合わせた安全な介助 ・　利用者の咀嚼と嚥下の確認 ・　利用者の目線と同じ高さで介助している ・　適度に水分を促している　等	
		⑤　食事摂取量の確認	・　食事摂取量の記録と必要性について
	４．入浴・清潔保持の介護		
	１）部分浴の介助		
	（１）手浴の介助	①　必要物品の用意	
		②　体調の確認等	
		③　安楽な姿勢の保持	
		④　湯温の確認 ・　実習生自身が確認した上で、利用者に確認	
		⑤　手浴 ・　指の間など洗い残しがない	・　皮膚の状態の観察について ・　手浴の効果と感染症の予防について
		⑥　爽快感や体調の変化の確認	
	（２）足浴の介助	①　必要物品の用意	・　足浴の効果について（血行促進による安眠効果、感染予防　等） ・　水虫など、皮膚の状態の観察のポイントについて
		②　体調の確認等	
		③　安楽な姿勢の保持	
		④　湯温の確認 ・　実習生自身が確認した上で、利用者に確認	
		⑤　足浴 ・　指の間など洗い残しがない	
		⑥　爽快感や体調の変化の確認	
	２）入浴の介助	・　機械浴（特殊浴槽・チェアー浴等） ・　一般浴槽 （いずれか１つは必ず行う）	・　身体の機能に合わせた入浴方法の選択について
		①　必要物品・浴室内の準備 ・　脱衣所・浴室内の室温管理	・　ヒートショックに関するからだのしくみと予防について
		②　体調等の確認	
		③　洗身 ・　湯温を実習生の肌で確認した後、利用者に確認 ・　末梢から中枢に向かって洗う ・　利用者の表情や皮膚の状態の観察　等	・　羞恥心への配慮について ・　入浴に関連する身体のしくみについて（血圧や体温の変化等） ・　入浴の作用と効果について ・　入浴に用いる福祉用具について ・　利用者の身体状態と適切な湯温について
		④　洗髪 ・　洗い残しがないか利用者に確認	
		⑤　入浴（湯船につかる） ・　湯温を実習生の肌で確認した後、利用者に確認 ・　浴槽には健側から入る　等	
		⑥　入浴後の水分補給	・　入浴による発汗作用と脱水防止について
		⑦　爽快感や体調変化の確認	
	３）身体清拭	①　必要物品の用意	
		②　体調の確認等	・　清拭を行う場面やその状況について
		③　安楽な姿勢の保持	・　クッション等を活用した安楽な姿勢について
		④　室温の管理	
		⑤　プライバシーへの配慮 ・　カーテンを引く、ついたてを置く等 ・　バスタオルやタオルケットを用い、肌の露出を控える等	・　羞恥心への配慮について
		⑥　身体の清拭 ・　末梢から中枢へ拭く ・　皮膚の状態の観察　等	
		⑦　爽快感や体調変化の確認	・　身体清拭がもたらす効果について

		5．排泄の介護		
		1）トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助	①　体調の確認等	・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、排泄環境の整備について
			②　自立を促す支援	
			③　トイレ・ポータブルトイレへの移乗 ・　深く腰掛けている、安定した座位を保てている　等	
			④　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの使用等	
			⑤　ズボンや下着等の上げ下ろし ・　転倒防止の配慮（手すりを持ってもらう、身体を支える等）	
			⑥　陰部・臀部の状態の観察	
			⑦　便の性状や尿量等の確認	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑧　清潔の保持 ・　トイレットペーパーで拭く、陰部の洗浄を行う等	
		2）おむつ交換	①　必要物品の用意	・　手洗いやディスポ手袋の使用等、清潔について ・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、おむつ・尿パッド等の選択について ・　尿路感染症等の予防について
			②　体調の確認等	
			③　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの活用等	
			④　陰部の洗浄 ・　シャワーボトルを用いての洗浄やタオル等での陰部の清拭等	
			⑤　陰部・臀部の状態の観察 ・　褥瘡やただれがないかの観察	
			⑥　便の性状や尿量等の確認	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑦　おむつや衣服、寝具等にしわがない	・　褥瘡予防の視点についいて
		3）尿器・便器を用いた介助	①　必要物品の用意	・　排泄にかかる福祉用具について ・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、尿器・便器等の選択について ・　尿路感染症等の予防について
			②　体調の確認等	
			③　自立を促す支援	
			④　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの活用	
			⑤　安楽な姿勢を整える ・　ベッドを起こす ・　側臥位の姿勢をとる　等	
			⑥　陰部の洗浄 ・　シャワーボトルを用いての洗浄や清拭タオル等で陰部の尿や便を拭き取る等	
			⑦　陰部・臀部の観察 ・　褥瘡やただれがないかの観察等	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑧　便の性状や尿量の確認	
			⑨　衣服、寝具等にしわがない	・　褥瘡予防の視点の理解について
		6．利用者特性に応じた介護		
		1）認知症の方への対応	①　利用者のペースに合わせる	・　認知症の方のこころとからだのしくみについての理解 ・　ＢＰＳＤと環境調整との関係について
			②　感情に働きかける	
			③　環境を整える　等	
		2）障害に応じた対応	①　対象者の心身機能の状態にあわせたコミュニケーション	・　個々の障害や疾患について ・　障害や疾患にあわせた対応について ・　障害形態別に用いる福祉用具や自助具について
			②　聴覚言語障害のある人への対応 （筆談やコミュニケーションボードの活用等）	
			④　　視覚障害のある人への対応 （場面や状況に応じた伝え方の工夫）	
		Ⅱ　安全衛生業務（※）		
		①　雇い入れ時の安全衛生教育	・　禁忌事項の確認含む	
		②　介護職種における疾病・腰痛予防	・　感染症対策や腰痛体操、ボディメカニクスの活用等	・　ボディメカニクスについて ・　感染予防について ・　介護者の心身の安全について

必須業務

		③　福祉用具の使用方法・及び点検	・　使用する福祉用具の取り扱い方や点検事項の理解等	・　福祉用具の適切な使用方法について
		④　介護事故防止のための教育	・　ヒヤリハットや事故報告書の事例から学ぶ	・　リスク管理について
		⑤　緊急時・事故発見時の対応	・　事業所においてマニュアルがあればそれに沿って行う等	
		※　必須業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　申し送りや記録に用いる専門用語について ・　利用者との円滑なコミュニケーションを図るための日本語について
2	関連業務	1．掃除、洗濯、調理業務（必要に応じて実施）		
		①　利用者の居室やトイレ、事業所内の環境整備		・　環境の整備が疾病予防や事故防止に繋がることについて
		②　利用者の衣類等の洗濯		
		③　食事に係る配下膳等		
		④　調理業務（ユニット等で実施されるもの）		
		⑤　利用者の居室のベッドメイキングやシーツ交換		・　プライベートな空間であることについて
		2．機能訓練の補助やレクリエーション業務		・　日常生活リハビリについて ・　季節の行事や文化について
		①　機能訓練の補助や見守り		
		②　レクリエーションの実施や見守り	・　レクリエーションで活用する歌詞カード等の作成 ・　行事の準備や実施　等	
		3．記録・申し送り		・　日誌や記録による情報共有の必要性について ・　報告、連絡、相談の必要性について
		①　食事や排泄等チェックリストによる記録・報告	・　チェックリストの確認・記入等	
		②　指示を受けた内容に対する報告	・　実習指導者の指示の下、行ったことに対する報告	
		③　日誌やケアプラン等の記録及び確認	・　日誌やケアプラン等の記録から情報収集を行う等	
		④　申し送りによる情報共有	・　申し送りに参加し、情報共有する	・　情報を共有するための日本語について
		※　関連業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　日誌等の記録を読む、記録を記載するための日本語について
3	周辺業務	1．　お知らせなどの掲示物の管理	・　見やすい位置に掲示する ・　お知らせや掲示物を作成する　等	
		2．　車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理		・　事故を防止するための福祉用具の点検・管理の必要性について
		3．物品の補充や管理		・　必要時に物品を使用するための補充の必要性について
		※　周辺業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　お知らせなどの作成に向けた日本語について
4	安全衛生業務	安全衛生作業（関連作業・周辺作業を行う場合は必ず実施する作業）　上記※に同じ ※　安全衛生業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		

（5）第３号技能実習実施計画（２年目）（モデル例）

技能実習を行わせる事業所
事業所名　　○○法人　×××事業所　　所在地　東京都新宿区西新宿○-○○-○○
実習期間　　20XX年　XX 月　XX 日　～　20YY年　YY 月　YY日（○年○月○日から訪問介護に従事）

		技能実習の内容 必須業務、関連業務及び周辺業務の例 指導員の役職・氏名（経験年数）	事業所	合計時間	月・時間数 1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目	7月目	8月目	9月目	10月目	11月目	12月目
1	必須業務	0. 共通項目（必須業務を行う際、全てにおいて共通） 1）体調の確認等 Ⅰ 身体介護業務 1. 身じたくの介護 1）整容の介助 （1）整容（洗面、整髪等） （2）顔の清拭 （3）口腔ケア 2）衣服着脱の介助 （1）着脱の介助（座位・臥位） 2. 移動の介護 1）体位変換 （1）体位変換 （2）起居の介助（起き上がり） （3）起居の介助（立位） 2）移動の介助 （1）歩行の介助 （2）車いす等への移乗の介助 （3）車いす等の移動の介助 3. 食事の介護 1）食事の介助 4. 入浴・清潔保持の介護 1）部分浴の介助 （1）手浴の介助 （2）足浴の介助 2）入浴の介助 3）身体清拭 5. 排泄の介護 1）トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助 2）おむつ交換 3）尿器・便器を用いた介助 6. 利用者特性に応じた対応（認知症、障害等） 1）利用者特性に応じた対応 介護主任　福祉花子（15年）	○○事業所	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
2	必須業務	Ⅱ 安全衛生業務（※） ① 雇い入れ時の安全衛生教育 ② 介護職種における疾病・腰痛予防 ③ 福祉用具の使用方法・及び点検 ④ 介護事故防止のための教育 ⑤ 緊急時・事故発見時の対応 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
3	関連業務	1. 掃除、洗濯、調理業務 ① 利用者の居室やトイレ、事業所内の環境整備 ② 利用者の衣類等の洗濯 ③ 食事に係る配下膳等 ④ 調理業務（ユニット等で実施されるもの） ⑤ 利用者の居室のベッドメイキングやシーツ交換 2. 機能訓練の補助やレクリエーション業務 ① 機能訓練の補助や見守り ② レクリエーションの実施や見守り 3. 記録・申し送り ① 食事や排泄等チェックリストによる記録・報告 ② 指示を受けた内容に対する報告 ③ 日誌やケアプラン等の記録及び確認 ④ 申し送りによる情報共有 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
4	周辺業務	1. お知らせなどの掲示物の管理 2. 車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理 3. 物品の補充や管理 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
5	関連・周辺業務	安全衛生業務（関連業務、周辺業務を行う場合は必ず実施する業務） 上記※に同じ 介護主任　福祉花子（15年）	同上	○h	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
		合　計　時　間		○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h	○h

（注意）
予定表には、当該科目の開始月より修了月までの間を矢印（←→）で結び、矢印の上に各月に行う時間数を記載してください。

使用する素材、材料等	
使用する機械、器具等	①　機械・設備等（必要に応じて使用すること） 1. 入浴：介護用浴槽、入浴用リフト、バスボード、浴槽マット、シャワーチェア、シャワーキャリー、槽内椅子等 2. 移動：スイングアーム介助バー、移動用リフト 3. その他：特殊寝台、スクリーンやカーテン等 ②　用具（必要に応じて使用すること） 1. 整容：洗面容器、ブラシ、タオル、ガーゼ、歯ブラシ、コップ、ガーグルベースン、スポンジブラシ、舌ブラシ、デンタルフロス、綿棒、歯磨き粉、マウスウォッシュ等 2. 入浴：洗面容器、タオル、ガーゼ、スポンジ、石鹸、保湿クリーム、温度計等 3. 食事：食器一式（皿、スプーン、フォーク、ナイフ、箸、コップ等）、食事用エプロン等 4. 排泄：ポータブルトイレ、尿器、便器、おむつ（紙製、布製）、タオル、ガーゼ、トイレットペーパー等 5. 衣服の着脱：衣類（上着類、下着類） 6. 移動：スライディングボード、クッション、体位変換器、車いす（自走、電動含む）、車いす付属品、歩行器 歩行補助杖（T字杖、ロフストランド・クラッチ、多点杖、松葉杖等）等 7. その他：義歯、義肢装具、補聴器、コミュニケーションボード、白杖、眼鏡等　シーツ、タオルケット、毛布、枕、枕カバー等　バイタル計測器、マスク、手袋 調理用具、掃除用具、レクリエーションにかかる道具、リハビリに関する用具等
製品等の例	
指導体制	指導員名：福祉　花子 免許・資格等　1. 介護福祉士 2. 介護支援専門員

様式１－４－②号の別紙

技能実習の内容 必須業務、関連業務及び周辺業務の別 指導員の役職・氏名（経験年数）			詳　細 （具体的な技術）	備　考 （着眼点）
1		０．共通項目	※体調の確認等①～④は、全ての身体介護業務に共通して行う	※以下の項目について理解する
		１）体調の確認等	①　あいさつ ②　体調の確認 ③　これから行うことの説明、同意を得る ④　（実行後）体調の確認	・　主体が利用者であることについて ・　体調の確認等を通じて、行う介護行為の方法や可否等を判断することについて
		Ⅰ　身体介護業務		
		１．身じたくの介護		
		１）整容の介助		
		（１）整容（洗面、整髪等）	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　利用者の好みの確認	
		（２）顔の清拭	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　タオルや湯の温度の確認 ・　介護者自身による確認と利用者への確認 ④　目頭から目尻に拭く ・　同じ面で繰り返し拭かない等	・　感染対策について ・　清潔について
		（３）口腔ケア	①　必要物品の用意 ②　体調の確認等 ③　自立を促す支援 ④　口腔内の磨き残しの確認 ⑤　口腔内の状態の確認 ・　歯牙の欠損や歯周病の確認等	・　上肢の身体機能や歯牙の状態に合わせた口腔ケアの方法について ・　口腔ケアが誤嚥性肺炎や感染症の予防に繋がることについて ・　口腔ケアに用いるさまざまな自助具について
	必須業務	２）衣服着脱の介助		
		（１）着脱の介助（座位・臥位）	①　体調の確認等 ②　プライバシーへの配慮 ③　衣服の選択・確認	・　本人の好みの尊重、自己選択・自己決定について ・　気候や場面、身体状態に合わせた衣類の選択について
			④　安定した姿勢の確認 ア：座位（足底が床につく） イ：臥位（マヒ側への配慮）	
			⑤　脱健着患	・　可動域に配慮した身体の動きについて
			⑥　自立を促す支援	
			⑦　着心地の確認	・　皮膚の状態等の観察のポイントについて
		２．移動の介護		
		１）体位変換		
		（１）体位変換	①　体調の確認等 ②　ボディメカニクスの活用 ・　利用者の膝を立てる、四肢を小さくまとめる等 ③　自立を促す支援 ・　健側の活用等 ④　安楽な姿勢の保持と確認 ・　利用者の腰を引く ・　クッションやタオルの活用　等	・　ボディメカニクスについて ・　体位変換の意義について ・　褥瘡ができるからだのしくみについて ・　マヒ側への配慮についての理解について ・　体位変換や褥瘡予防に用いる福祉用具について
		（２）起居の介助(起き上がり)	①　体調の確認等 ②　自立を促す支援 ・　健側の活用（肘をつく、側臥位になる、ベッド柵に掴まる等）	・　ボディメカニクスについて ・　起き上がりの際の血圧変動等からだのしくみについて

	必須業務		③　利用者の自然な身体の動きを妨げない ・　全介助が必要な場合上体が弧を描くように起き上がる ・　側臥位になって起き上がる場合は先に足を下ろす　等	
			④　安定した座位の保持 ・　ベッドの柵を持つ、ベッドに手をつく、足底が床につく等	
		（３）起居の介助（立位）	①　体調の確認等	・　立ち上がりの際の血圧変動等からだのしくみについて ・　起居に用いる福祉用具について
			②　自立を促す支援 ・　麻痺の場合の膝折れの防止 ・　アームバーの利用　等	
			③　利用者の自然な身体の動きを妨げない	
			④　安定した立位の保持	
		２）移動の介助		
		（１）歩行の介助	①　体調の確認等	・　杖や歩行器等、利用者の身体機能に応じた福祉用具選択について
			②　安全に留意した介助位置 ・　（杖や手すり使用時）マヒ側の後方 ・　（視覚障害者の場合）半歩前　等	
			③　自立を促す支援 ・　身体の機能に応じた福祉用具の選択等	
			④　利用者のペースに合わせる	
			⑤　安全の確保 ・　安全なルートの選択 ・　履物の選択　等	
		（２）車いす等への移乗の介助	①　体調の確認等	・　健側の活用について ・　移乗時に用いる福祉用具の機能や特徴について ・　車椅子の種類や扱い方について ・　利用者の身体機能に応じた車椅子等、移動の福祉用具選択について
			②　利用者といすや車いす等との距離を適切に保つ	
			③　安全の確認 ・　いすや車いすが安定しているか ・　（車いすの場合）ブレーキがかかっているか、タイヤの空気は十分か、フットサポートがあがっているかの確認等	
			④　自立を促す支援 ・　足底が床についている ・　利用者がアームレストを掴むなど前傾姿勢がとれる支援 ・　利用者の健側を軸にしている ・　マヒの場合は膝折れの防止　等	
			⑤　安定した座位 ・　深く腰掛けている ・　足底が床につく、または、フットサポートに乗っている ・　（車いすの場合状況に応じて）利用者の手が大車輪に巻き込まれない位置にある ・　利用者のからだが傾いているときはクッションを活用する　等	
		（３）車いす等の移動の介助	①　体調の確認等	・　生活における移動の意義について
			②　安全の確認 ・　安定した座位が保てている ・　フットサポートに足が乗っている ・　腕や手が大車輪に巻き込まれない位置にある　等	
			③　自立を促す支援 ・　身体機能に合った車いすの選択等	
			④　安全な移動 ・　動き出しや方向転換等場面の変化について説明する ・　止まるときはブレーキをかける　等	・　段差や坂道での車椅子移動の方法について

必須業務	３．食事の介護		
	１）食事の介助	①　体調の確認等	・　禁忌食や治療食について ・　水分補給の必要性について ・　食事摂取と排泄に関連するからだのしくみについて ・　嗜好や行事食等について ・　食事に用いる自助具について ・　身体機能（咀嚼や嚥下状態）にあわせた食事形態について（ミキサー食や刻み食、とろみ剤等）
		②　食事をとる姿勢の保持 ・　顎を引いた前傾姿勢 ・　臥位の場合は、ベッドを 30 度以上に起こす　等	
		③　自立を促す支援 ・　自助具の活用や食事形態の工夫等	
		④　利用者のペースに合わせた安全な介助 ・　利用者の咀嚼と嚥下の確認 ・　利用者の目線と同じ高さで介助している ・　適度に水分を促している　等	
		⑤　食事摂取量の確認	・　食事摂取量の記録と必要性について
	４．入浴・清潔保持の介護		
	１）部分浴の介助		
	（１）手浴の介助	①　必要物品の用意	
		②　体調の確認等	
		③　安楽な姿勢の保持	
		④　湯温の確認 ・　実習生自身が確認した上で、利用者に確認	
		⑤　手浴 ・　指の間など洗い残しがない	・　皮膚の状態の観察について ・　手浴の効果と感染症の予防について
		⑥　爽快感や体調の変化の確認	
	（２）足浴の介助	①　必要物品の用意	・　足浴の効果について（血行促進による安眠効果、感染予防　等） ・　水虫など、皮膚の状態の観察のポイントについて
		②　体調の確認等	
		③　安楽な姿勢の保持	
		④　湯温の確認 ・　実習生自身が確認した上で、利用者に確認	
		⑤　足浴 ・　指の間など洗い残しがない	
		⑥　爽快感や体調の変化の確認	
	２）入浴の介助	・　機械浴（特殊浴槽・チェアー浴等） ・　一般浴槽 （いずれか１つは必ず行う）	・　身体の機能に合わせた入浴方法の選択について
		①　必要物品・浴室内の準備 ・　脱衣所・浴室内の室温管理	・　ヒートショックに関するからだのしくみと予防について
		②　体調等の確認	
		③　洗身 ・　湯温を実習生の肌で確認した後、利用者に確認 ・　末梢から中枢に向かって洗う ・　利用者の表情や皮膚の状態の観察　等	・　羞恥心への配慮について ・　入浴に関連する身体のしくみについて（血圧や体温の変化等） ・　入浴の作用と効果について ・　入浴に用いる福祉用具について ・　利用者の身体状態と適切な湯温について
		④　洗髪 ・　洗い残しがないか利用者に確認	
		⑤　入浴（湯船につかる） ・　湯温を実習生の肌で確認した後、利用者に確認 ・　浴槽には健側から入る　等	
		⑥　入浴後の水分補給	・　入浴による発汗作用と脱水防止について
		⑦　爽快感や体調変化の確認	
	３）身体清拭	①　必要物品の用意	
		②　体調の確認等	・　清拭を行う場面やその状況について
		③　安楽な姿勢の保持	・　クッション等を活用した安楽な姿勢について
		④　室温の管理	
		⑤　プライバシーへの配慮 ・　カーテンを引く、ついたてを置く等 ・　バスタオルやタオルケットを用い、肌の露出を控える等	・　羞恥心への配慮について
		⑥　身体の清拭 ・　末梢から中枢へ拭く ・　皮膚の状態の観察　等	
		⑦　爽快感や体調変化の確認	・　身体清拭がもたらす効果について

		５．排泄の介護		
		１）トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助	①　体調の確認等	・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、排泄環境の整備について
			②　自立を促す支援	
			③　トイレ・ポータブルトイレへの移乗 ・　深く腰掛けている、安定した座位を保てている　等	
			④　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの使用等	
			⑤　ズボンや下着等の上げ下ろし ・　転倒防止の配慮（手すりを持ってもらう、身体を支える等）	
			⑥　陰部・臀部の状態の観察	
			⑦　便の性状や尿量等の確認	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑧　清潔の保持 ・　トイレットペーパーで拭く、陰部の洗浄を行う等	
		２）おむつ交換	①　必要物品の用意	・　手洗いやディスポ手袋の使用等、清潔について ・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、おむつ・尿パッド等の選択について ・　尿路感染症等の予防について
			②　体調の確認等	
			③　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの活用等	
			④　陰部の洗浄 ・　シャワーボトルを用いての洗浄やタオル等での陰部の清拭等	
			⑤　陰部・臀部の状態の観察 ・　褥瘡やただれがないかの観察	
			⑥　便の性状や尿量等の確認	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑦　おむつや衣服、寝具等にしわがない	・　褥瘡予防の視点についいて
		３）尿器・便器を用いた介助	①　必要物品の用意	・　排泄にかかる福祉用具について ・　排泄に関連するからだのしくみについて ・　羞恥心への配慮について ・　個々の身体の特性に合わせた、尿器・便器等の選択について ・　尿路感染症等の予防について
			②　体調の確認等	
			③　自立を促す支援	
			④　プライバシーへの配慮 ・　カーテンやスクリーンの活用	
			⑤　安楽な姿勢を整える ・　ベッドを起こす ・　側臥位の姿勢をとる　等	
			⑥　陰部の洗浄 ・　シャワーボトルを用いての洗浄や清拭タオル等で陰部の尿や便を拭き取る等	
			⑦　陰部・臀部の観察 ・　褥瘡やただれがないかの観察等	・　便や尿の性状の観察点について ・　排泄の記録と必要性について
			⑧　便の性状や尿量の確認	
			⑨　衣服、寝具等にしわがない	・　褥瘡予防の視点の理解について
		６．利用者特性に応じた介護		
		１）認知症の方への対応	①　利用者のペースに合わせる	・　認知症の方のこころとからだのしくみについての理解 ・　ＢＰＳＤと環境調整との関係について
			②　感情に働きかける	
			③　環境を整える　等	
		２）障害に応じた対応	①　対象者の心身機能の状態にあわせたコミュニケーション	・　個々の障害や疾患について ・　障害や疾患にあわせた対応について ・　障害形態別に用いる福祉用具や自助具について
			②　聴覚言語障害のある人への対応 （筆談やコミュニケーションボードの活用等）	
			④　　視覚障害のある人への対応 （場面や状況に応じた伝え方の工夫）	
		Ⅱ　安全衛生業務（※）		
		①　雇い入れ時の安全衛生教育	・　禁忌事項の確認含む	
		②　介護職種における疾病・腰痛予防	・　感染症対策や腰痛体操、ボディメカニクスの活用等	・　ボディメカニクスについて ・　感染予防について ・　介護者の心身の安全について

必須業務

		③　福祉用具の使用方法・及び点検	・　使用する福祉用具の取り扱い方や点検事項の理解等	・　福祉用具の適切な使用方法について
		④　介護事故防止のための教育	・　ヒヤリハットや事故報告書の事例から学ぶ	・　リスク管理について
		⑤　緊急時・事故発見時の対応	・　事業所においてマニュアルがあればそれに沿って行う等	
		※　必須業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　申し送りや記録に用いる専門用語について ・　利用者との円滑なコミュニケーションを図るための日本語について
2	関連業務	1．掃除、洗濯、調理業務 （必要に応じて実施）		
		①　利用者の居室やトイレ、事業所内の環境整備		・　環境の整備が疾病予防や事故防止に繋がることについて
		②　利用者の衣類等の洗濯		
		③　食事に係る配下膳等		
		④　調理業務（ユニット等で実施されるもの）		
		⑤　利用者の居室のベッドメイキングやシーツ交換		・　プライベートな空間であることについて
		2．機能訓練の補助やレクリエーション業務		・　日常生活リハビリについて ・　季節の行事や文化について
		①　機能訓練の補助や見守り		
		②　レクリエーションの実施や見守り	・　レクリエーションで活用する歌詞カード等の作成 ・　行事の準備や実施　等	
		3．記録・申し送り		・　日誌や記録による情報共有の必要性について ・　報告、連絡、相談の必要性について
		①　食事や排泄等チェックリストによる記録・報告	・　チェックリストの確認・記入等	
		②　指示を受けた内容に対する報告	・　実習指導者の指示の下、行ったことに対する報告	
		③　日誌やケアプラン等の記録及び確認	・　日誌やケアプラン等の記録から情報収集を行う等	
		④　申し送りによる情報共有	・　申し送りに参加し、情報共有する	・　情報を共有するための日本語について
		※　関連業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　日誌等の記録を読む、記録を記載するための日本語について
3	周辺業務	1．　お知らせなどの掲示物の管理	・　見やすい位置に掲示する ・　お知らせや掲示物を作成する　等	
		2．　車いすや歩行器等福祉用具の点検・管理		・　事故を防止するための福祉用具の点検・管理の必要性について
		3．物品の補充や管理		・　必要時に物品を使用するための補充の必要性について
		※　周辺業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		・　お知らせなどの作成に向けた日本語について
4	安全衛生業務	安全衛生作業（関連作業・周辺作業を行う場合は必ず実施する作業）　上記※に同じ ※　安全衛生業務を行うための介護に関する専門用語の理解に向けた日本語学習		